

## 寺院・諸堂來歴

慶長四年（一五九九）寶譽了風上人が創建。元和三年（一六一八）西寺町（現在の兎我野町）に伽藍を建立した。天保五年（一八三五）天満火災で堂宇のすべてを焼失。同八年に再建。昭和二十年（一九四五）大阪大空襲で再び伽藍を焼失する。昭和四十六年（一九七二）現在地に移転して本堂・庫裏・地蔵堂を建立。

開山上人が靈夢で感得し難波の砂中から発見したという日限地蔵尊が長く尊信を集めてきた。戦災による焼失のあと、黒谷金戒光明寺から木造極彩色の等身大地蔵菩薩が下賜され、新たな「ひぎりさん」として崇敬される。「大阪三十三カ所観音巡り」

の第四番札所でもあった。その由緒から平成二十二年（一二一〇）十尺の石造聖觀音菩薩像を建立した。

## 本尊

本尊阿弥陀仏像は江戸期の淨土宗の高僧願求上人の作と伝わる。等身大座像で舟形火焰光背を付した台座に乗る。有馬極楽寺本尊阿弥陀仏と同一のものとされる。空襲で脇菩薩は焼失したが、群馬の仏師の手により平成十一年（一九九九）再造立した。

## 宝物・墓石・行事など

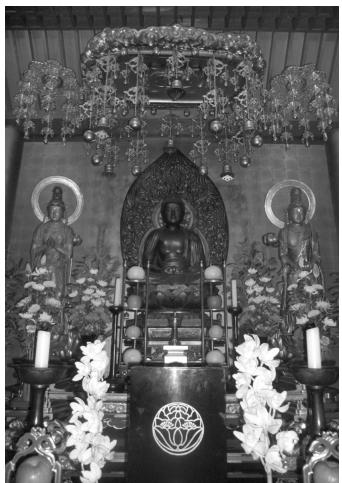
宝物に天明期の涅槃図がある。

年中行事は修正会・春の彼岸会・灌仏会・盂蘭盆施餓鬼会・淨焚会などをいとなむ。

## 第一願「無三悪趣の願」

もし我れ仏を得たらんに、國に地獄・餓鬼・畜生あらば、正覺を取らじ。

【大意】私の淨土には地獄道・餓鬼道・畜



生道といつた三悪道（三種の惡しきあり方）が存在しませんように。

## 和歌

みつの名の やみぢもひろく 月かけの  
てらすやのりの ちかひなるらん

【訳】「地獄・餓鬼・畜生の」三「惡道」という名の闇路を、月の光がひろく照らして歩く人を導くように、阿弥陀仏の光明は「三惡道の者をも」照らし導くのである。まさにこの誓願によつて。